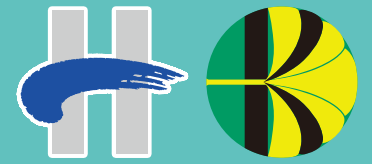


令和8年度

学校案内

School Guide



独立行政法人 国立病院機構

熊本医療センター
附属看護学校



熊本城



国立病院機構 熊本医療センター



熊本市役所



加藤神社



熊本県立美術館



サクラマチコムモト

ACCESS



- 桜町バスターミナルから〈徒歩〉5分
〈都市バス〉島1・島2 荒尾橋行 国立病院前下車
島3 上熊本営業所行 国立病院前下車
- JR熊本駅から
〈熊本都市バス〉第一環状線 うるさんまち(蔚山町)下車 徒歩10分
〈市内電車〉健軍行 熊本城前下車 徒歩10分
〈シャトルバス〉桜町バスターミナル行 直行便
- 阿蘇くまもと空港から
〈空港リムジンバス〉桜町バスターミナル行 50分
〈タクシー〉40分

お問い合わせ
入学案内請求は



独立行政法人 国立病院機構
熊本医療センター附属看護学校
〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
TEL096-352-5691 問い合わせ時間/平日9:00~17:00
<https://kumamoto.hosp.go.jp/school/>



附属看護学校
ホームページ



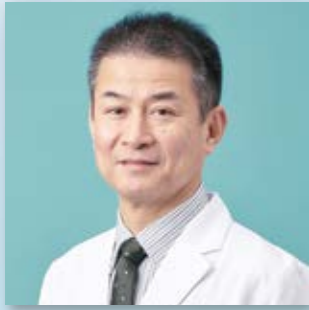
\ Follow Me /

Instagram

はじめました!



HOKHAN.HUMA



ご挨拶

国立病院機構熊本医療センター院長
同附属看護学校長

日高 道弘

当校は、熊本城二の丸の場内にあり、政令指定都市の中心地にもかかわらず、美術館・博物館たたずむ緑ゆたかな恵まれた教育環境にあります。日本有数の高度急性期病院である国立病院機構熊本医療センターの附属看護学校です。その一部をご紹介します。

☆実践重視のハイレベルな講師陣が揃っています。日本有数の救急病院である国立病院機構熊本医療センターを担う、現職の専門医による最新の医学教育を行います。また、経験豊富な専任教員と、第一線で活躍するベテラン看護師・認定看護師・専門看護師・特定行為研修修了看護師が、優しく丁寧に看護学を教育します。

☆皆さんが所属する母体病院が実習施設です。550床を有する熊本医療センターは、高度急性期に特化したすべての診療科が揃う総合病院です。170名の医師と700名の看護師が皆さんの実習のお手伝いをします。

☆医療者向けの教育設備と機能が整っています。講義は病院敷地内に独立する校舎で行います。病院本館の施設である医療者向けの図書室やe-ラーニング、また新館スキルアップラボに完備した数々の医学用シミュレーターも皆さんは使用することができます。また地域医療研修センターで行われている、一般医療者向けの様々なセミナーや講演を無料で聴講することができます。

☆通学・勉学に最適な環境です。学校・病院とも、熊本城二の丸の場内にあり、政令指定都市の中心地にもかかわらず、美術館・博物館たたずむ緑ゆたかな恵まれた教育環境にあります。サクラマチバスセンターから徒歩5分で、国立病院シャトルバスも1時間に1本巡回しています。

☆学生生活を楽しんで下さい。病院新館7階の展望レストランは、皆さんの為の学食でもあります。豊富なメニューを学生価格で提供しています。熊本城を間近に眺めながら、仲間とのランチを楽しんで下さい。喫茶（DOUTOR）、コンビニエンスストア（LAWSON）も充実しています。

☆学生の皆さんの健康管理は、熊本医療センターが責任を持って行います。安心して、勉学、サークル活動、ボランティアにいそしんで下さい。

☆卒業後は、国立病院機構の病院や、皆さんが希望される公立病院、公的病院へ全員が就職できますよう全力で支援いたします。

以上、当院の特徴をいくつか列挙させていただきました。あこがれの看護師への夢を当校でかなえてみませんか？ 精一杯お手伝いさせていただきます。



本校は、1976（昭51）年学校教育法第82条の2に規定する専修学校となり、1995（平7）年文部省告示第7号により「専門士」と称することができる専門課程として承認された学校です。

教育理念

本校は、「自主・責任秩序・融和」の精神に基づき、生命の尊厳を基盤として豊かな人間性をはぐくみ、科学的根拠と倫理に基づいた質の高い看護実践ができる看護の専門職業人を育成します。

自主

常に物事の真髄に目を向け、広い視野に立って自分の力で考え、自ら課題を発見できる学生を育てます。
そして一人ひとりが自発的に行動し、それぞれの力を十分に発揮できるように支援します。

責任秩序

組織の中で看護の専門職業人としてのモラルを身につけながら、最後まで役割を果たすことができる学生を育成します。
その中で学生が自分の存在価値を認め、成長していけるよう支援します。

融和

一人ひとりの個性や人権を互いに尊重し、相手の立場に立って行動できる学生を育成します。そのためには、様々な意見や考えに触れることで相手をよく知り理解できるように支援します。
その中でよい影響を与え合い、さらに新たなものを創り出し未来を変えていく力につなげます。

教育目的

看護師として必要な知識・技術・態度を身につけ、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

教育目標(ディプロマポリシー)

1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。
2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。
3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。
4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。
5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。
6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。

本校の入学受け入れの方針(アドミッションポリシー)

1. 課題に向き合い積極的に行動できる人
2. 誠実で責任感のある行動ができる人
3. 人との関わりを大切にし、コミュニケーションがはかれる人
4. 相手の話をよく聴き、柔軟な考え方ができる人
5. 看護職として明確な意思を持っている人

目指す卒業生像

1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解する。
2. 生命を尊び、人々の多様な価値観を尊重し、看護の専門職業人として倫理観に基づいた行動をとることができる。
3. 自己を理解し、他者を尊重したうえで人間関係を深めることができる。
4. 科学的根拠にもとづき、対象の生活をよりよくするために看護実践ができる。
5. 保健医療福祉チームの一員として、看護の役割を理解し果たすことができる。
6. 国際社会の動きに関心を持ち、広い視野をもって看護を実践できる。
7. 自らを高めるために継続的に学習し、看護の発展に携わることができる。
8. 看護者としてふさわしい品格を保ち、人間の喜びや痛み、苦しみをわかちあえる豊かな人間性を備えている。

沿革

本校は創立70年を超える歴史ある学校です。

本校は、前々身の熊本陸軍第一病院の陸軍看護婦養成所として発足し、その後、2004（平成16）年4月に母体病院の名称変更に伴い、現在の独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校となりました。創立から79年を経て2025年3月末時点で、卒業生は2,984名を超えました。卒業生は、熊本をはじめ、県内外はもとより海外を含めて、様々な看護活動の場あるいは看護基礎教育の場など幅広い分野で活躍しています。

昭和19年	熊本陸軍病院に附属した看護婦養成所として開設される
昭和20年12月	国立熊本病院の発足と共に、同附属養成所となる（卒業生36名）
昭和22年 7月	新制度甲種看護婦養成所に指定（第1期生20名入学）
昭和23年 6月	保健婦助産婦看護婦法改正により、国立熊本病院附属高等看護学院と改称
昭和26年 4月	認可
昭和43年 4月	保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の一部改正により、学科目、授業時間数が大幅に改正されて新カリキュラムとなる
昭和48年 7月	新校舎竣工
昭和50年 4月	厚生省組織規程の一部改正により、国立熊本病院附属看護学校と改称
昭和51年 4月	学校教育法第82条の2に規定する専修学校となる
平成 2年 4月	養成所指定規則、指導要領の改正により、医療をとり巻く社会状況の変化に対応できるように配慮し、又ゆとりある教育を目指して教育課程が改正された
平成 7年 1月	文部省告示第7号により、専門士と称することができる専門課程として認められる
平成 8年 9月	創立50周年記念式典、記念誌発刊
平成 9年 4月	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正により教育内容の充実、単位制が導入され、教育課程が改正
平成16年 4月	母体施設の独立行政法人化により、独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校と改称
平成16年10月	新校舎竣工
平成18年 9月	創立60周年記念式典、記念誌発刊
平成21年 4月	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正により、看護実践能力を強化するため教育課程が改正
平成28年10月	創立70周年記念特別講演会
令和 7年 3月	卒業生 2,984名



 2025 年、創立 79 周年になりました。

概況
学校職員

 学校長 日高道弘	 副学校長 宮成信友	 事務長 佐伯文啓	 教育主事 田中紀代美
 教員 市場美織	 教員 吉竹あゆ	 教員 佐々木主一	 教員 濱崎友実
 教員 隈部直子	 教員 高木雅弘	 教員 間宮みどり	 教員 筒井雅子

教育課程 看護専門課程 看護学科（三年課程）

定員 1 学年定員 40 名（総定員120 名）

学校の概要

- 学校生活・学習環境
教育理念にかける3つの精神にこめた看護専門職となるよう本校が大切に取り組んでいることがあります。
－ 充実した学習環境
落ち着いた雰囲気のある校舎。実習室には、様々なシミュレーターやモデル人形をそろえています。学校生活では、隣接の母体病院にあるコンビニや食堂も利用できます。
－ 学生を全力でサポート！
入学間もない新入生には“ウエルカムタイム”で先輩学生が校舎内や、学校生活の1日の時間をどのように過ごすか、優しく説明しています。看護技術を習得する時期“ピアティーチング”といい、先輩学生が後輩に指導する機会を設けています。教えるだけでなく、お互いがいろいろなことを感じ考え、看護の学習者として成長する機会があります。
－ 多彩な講師陣による講義と熱心な実習指導
医療・看護以外の科目は、学校外から様々な経歴の講師による講義がうけられます。医療や看護については、最新の医療・看護を提供している職員の講義を受けることができます。
- 卒業後の進路
本校での履修を終えた学生のほとんどは病院施設に就職します。就職先は、母体病院の国立病院機構熊本医療センターはじめ県内外の国立病院機構、近隣の公的病院などです。また、数名はさらなる資格取得を目指し、看護系大学3年次や看護教諭学科、助産学科へ進学します。このようにして、卒業生は様々な分野で活躍しています。
- 看護師国家試験
看護師国家試験は常に全国平均を上回り、高い合格率を維持しています。
国家試験対策としては、1年次から自ら課題をみつけ取り組む姿勢を身につけ、自主的に学び続けることを大切に、学生を支援しています。

卒業生進路

進学	学校名	2022	2023	2024
		年度	年度	年度
	熊本大学看護教諭特別別科			2
	岡山大学看護教諭特別別科	1		
	高知大学医学部看護学科	1		
	京都医療センター附属京都看護助産学校(助産学科)			1
	遠賀中央看護助産学校助産学科	1		
	大分大学医学部看護学科		1	

就職		施設名	2022	2023	2024
			年度	年度	年度
熊本県内	国立病院機構	熊本医療センター	29	30	37
		熊本再春医療センター	1	4	1
	熊本大学病院				1
	福田病院		1	1	
	JCHO 人吉医療センター		1		
九州内	桜十字病院		2		
	国立病院機構	九州医療センター		1	
		小倉医療センター	1		
		宮崎東病院	1		
		大牟田病院		1	
	鹿児島市立病院				1
九州外	JCHO 諫早総合病院		1		
	国立病院機構	東京医療センター	1	3	
		横浜医療センター	1		
		京都医療センター		1	
	国立循環器病研究センター		1		
	国立成育医療研究センター		1		

講師紹介

講師陣は専任教員の他、国立病院機構熊本医療センターの医師・看護師や近隣の大学教授が専門性を活かした授業を行っています。

学 科 目		講 師 名	所 属 ・ 職 名
基礎分野	人間工学	西島 衛治	九州看護福祉大学 名誉教授
	情報科学	坂西 文俊	非常勤講師 前) 有明工業高等専門学校 教授
	文学	小笠原 淳	熊本学園大学 外国語学部東アジア学科 教授
	生活科学	阿草 哲郎	熊本県立大学 環境共生学部 教授
	健康と癒し	古澤嗣佳子	(株)SKミュージック代表取締役・平成音楽大学 講師
		平野 龍	NPO法人ひとづくり JAPANネットワーク 主任・理事
	英語講読	池田 裕子	熊本大学 非常勤講師
	人間関係論	高木ひろみ	臨床心理士
		吉田 道雄	熊本大学 名誉教授
	社会学	向井 良人	熊本保健科学大学 准教授
	心理学	江崎百美子	くまもと心理カウンセリングセンター 副代表
	教育学	伊藤 良高	熊本学園大学 名誉教授
	生命倫理	藤井 可	熊本市役所 医療参事
	哲学	金戸 清高	九州ルーテル学院大学 教授
	英会話	林 久美	非常勤講師
	解剖生理学	松野健二郎	非常勤講師 前) 獨協医科大学 特任教授
	看護形態機能学	松野健二郎	非常勤講師 前) 獨協医科大学 特任教授
	生化学	吉田 卓矢	熊本県立大学 環境共生学部環境共生学科 准教授
	病理学	村山 寿彦	熊本医療センター 病理診断科特別診療役
専門基礎分野	微生物学	江藤 晶	日本総合教育専門学校 非常勤講師
	薬理学	三角 紳博	熊本医療センター 薬剤科部長
	疾病論Ⅰ	田山 信至	熊本医療センター 診療部長
		松原 純一	熊本医療センター 副診療部長
		岡本 健	熊本医療センター 心臓血管外科部長
		河北 敏郎	熊本医療センター 血液内科部長
		原田奈穂子	熊本医療センター 血液内科副部長
		辻 隆宏	熊本医療センター 総合診療科部長
	疾病論Ⅱ	日高 道弘	熊本医療センター 院長
		櫻井 聖大	熊本医療センター 診療部長
		久保田竜生	熊本医療センター 外科部長
		富田 正郎	熊本医療センター 副院長
		前田 喜寛	熊本医療センター 泌尿器科部長
		鮫島 智洋	熊本医療センター 泌尿器科医長
	疾病論Ⅲ	水元 孝郎	熊本医療センター 外科副部長
		山本 直	熊本医療センター 産婦人科副部長
		渡邊 隆弘	熊本医療センター 眼科部長
		上村 尚樹	熊本医療センター 耳鼻咽喉科部長
		西川 武志	熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科部長
		立山 雅邦	熊本医療センター 診療部長
	疾病論Ⅳ	松山 太一	熊本医療センター 消化器内科部長
		久保田竜生	熊本医療センター 診療部長
		岩上 志朗	熊本医療センター 外科副部長
		松本 克孝	熊本医療センター 外科副部長
		牧野 公治	熊本医療センター 皮膚科部長
	疾病Ⅴ	福元 哲也	熊本医療センター 診療部長
		前田 智	熊本医療センター リハビリテーション科部長
		中馬 東彦	熊本医療センター 整形外科副部長
		福田 和昭	熊本医療センター リハビリテーション科副部長
		田北 智裕	熊本医療センター 脳神経センター長
		中川 隆志	熊本医療センター 脳神経外科部長
		櫻井 聖大	熊本医療センター 診療部長
	治療論	松本 克孝	熊本医療センター 外科副部長
		宮崎 直樹	熊本医療センター 麻酔科部長
		瀧 賢一郎	熊本医療センター 教育研修部長
		日高 道弘	熊本医療センター 院長
		富高 悦司	熊本医療センター 放射線治療科部長
		根岸 孝典	熊本医療センター 放射線科部長
		伊藤加奈子	熊本医療センター 放射線科副部長
	生活とリハビリテーション	井上聖二郎	熊本医療センター 放射線科副部長
		村上 寿一	熊本医療センター 理学療法士長
		吉田 卓矢	熊本県立大学 環境共生学部環境共生学科 准教授
	栄養学	井上 聡美	熊本医療センター 栄養管理室長
	現代医療と看護	日高 道弘	熊本医療センター 院長
	公衆衛生学	増田 翔太	熊本大学大学院 生命科学研究部 助教
	社会福祉	橋本眞奈美	熊本学園大学 社会福祉学部 教授
	生活者の健康を守る法と施策	荒木紀代子	熊本県立大学 名誉教授
	関係法規	佐伯 文啓	熊本医療センター 事務部長
		三角 紳博	熊本医療センター 薬剤部長

専 門 分 野	学 科 目	講 師 名	所 属 ・ 職 名
	診療の補助技術Ⅰ	寺下 真吾	熊本医療センター 臨床工学技士長
	看護倫理	甲斐 愛子	非常勤講師
	看護研究	沼田 裕美	非常勤講師
	地域のくらしを支える看護Ⅱ	嶋野さとみ	くまもと成城病院 看護師長
	家族看護学	生野 繁子	九州看護福祉大学 副学長
	在宅看護概論	生野 繁子	九州看護福祉大学 副学長
		田中 裕貴	(株)ゼロヨンゼロハチ 代表取締役・訪問看護ステーションARTE 代表取締役
	在宅看護援助論Ⅰ	川上 瞬	訪問看護ステーションレシーブ 理学療法士
		田中 裕貴	(株)ゼロヨンゼロハチ 代表取締役・訪問看護ステーションARTE 代表取締役
		香月 麗	熊本医療センター JNP・皮膚排泄ケア認定看護師
	在宅看護援助論Ⅱ	田代 清美	株式会社S-TASHIRO 代表取締役
		安永 浩子	熊本医療センター 地域連携係長
		中本さおり	一般社団法人 2MORO 代表理事
	成人看護援助論Ⅲ	甲斐 彰	熊本医療センター 副看護師長・急性・重症患者看護専門看護師
		今村 祐太	熊本医療センター 副看護師長・クリティカルケア認定看護師・特定行為研修修了者
		前川 友成	熊本医療センター 副看護師長・集中ケア認定看護師・特定行為研修修了者
		松尾 僚太	熊本医療センター 副看護師長・特定行為研修修了者
		松本 将太	熊本医療センター 慢性心不全看護認定看護師
		寺下 真吾	熊本医療センター 臨床工学技士長
	老年看護援助論	岡 愛	菊池病院 副看護師長
		田平 佳苗	熊本医療センター 副看護師長・摂食嚥下認定看護師
		香月 麗	熊本医療センター JNP・皮膚排泄ケア認定看護師
	周手術期看護援助論	村上あゆ美	熊本医療センター 副看護師長・特定行為研修修了者
		森川かの子	くまもと森都総合病院 看護師
		北野まどか	くまもと森都総合病院 看護師
	終末期看護援助論	中村 律子	熊本南病院 副看護師長・緩和ケア認定看護師
		松本恵里子	熊本医療センター がん放射線療法認定看護師
		藤島 愛華	熊本医療センター がん化学療法認定看護師・特定行為研修修了者
	健康支援援助論Ⅰ	田代久美子	熊本南病院 副看護師長
		藤島 愛華	熊本医療センター 副看護師長・特定行為研修修了者
	健康支援援助論Ⅱ	東 隼人	熊本医療センター 看護師
		満永千香子	熊本医療センター 看護師
	小児看護援助論Ⅰ	水上 智之	熊本医療センター 小児科部長
		興梠 雅彦	熊本医療センター 小児科副部長
		渡邊 優	熊本医療センター 小児科医師
	小児看護援助論Ⅱ	岡村 沙織	熊本医療センター 看護師
		林 瑠奈	熊本再春医療センター 看護師
		宮崎 理加	熊本再春医療センター 看護師
		船津 巴	熊本再春医療センター 看護師
	小児看護技術	山本 真衣	熊本医療センター 看護師
	母性看護学概論	深水 素子	非常勤講師
	母性看護援助論Ⅰ	深水 素子	非常勤講師
	母性看護援助論Ⅱ	坪木 純子	熊本医療センター 産婦人科医長
	母性看護援助論Ⅲ	原田なをみ	保健科学大学 助産別科 教授
	精神看護学概論	北里 眞弓	前) 保健科学大学 教授
	精神看護援助論Ⅰ	渡邊健次郎	熊本医療センター 精神科医師
		橋本 聡	熊本医療センター 精神科部長
		山下 建昭	菊池病院 病院長
	精神看護援助論Ⅱ	楢井 俊史	菊池病院 精神科認定看護師
		小田 泰介	菊池病院 副看護師長
		村上 誠一	熊本医療センター 看護師
	医療安全	森山ひろみ	熊本医療センター 医療安全係長
	看護管理	堤 令子	熊本医療センター 看護部長
		前田 志穂	熊本医療センター 副看護部長
		松尾 和美	熊本医療センター 副看護部長
		吉岡美智子	熊本医療センター 副看護部長
		大兼久みより	国立療養所菊池恵楓園 看護部長
	災害看護・国際看護	八代 利香	鹿児島大学医学部 保健学科 教授
		渋谷 常行	熊本医療センター 救命救急センター長
		清永 正	熊本医療センター 救急支援担当者
	今村 祐太	熊本医療センター 副看護師長・クリティカルケア認定看護師	
	益田 洋子	熊本医療センター 副看護師長・感染管理認定看護師	
	川島 千愛	熊本医療センター 看護師	
	松崎 弘毅	熊本医療センター 看護師	
	中嶋 美佳	熊本医療センター 看護師・救急看護認定看護師	
支援生	学生カウンセリング	古閑奈穂美	臨床心理士・公認心理師

授業科目 単位数及び時間数

区分				科目名				単位数	時間数	区分				科目名				単位数	時間数	
基礎分野	科学的思考の基盤	人間工学	1	30	基礎看護学	看護学概論	1	30	領域横断科目 (成人看護学、老年看護学)	周手術期看護援助論	1	30	臨地実習	終末期看護援助論	1	30	小児看護学	健康支援援助論Ⅰ	1	30
		情報科学	1	30		基礎看護技術論	1	30		健康支援援助論Ⅱ	1	30		健康支援援助論Ⅱ	1	30				
		文学	1	30		フィジカルアセスメント	1	30		周手術期看護実習	2	90		小児看護技術	2	90				
	生活科学	1	30	日常生活援助技術Ⅰ		1	30	小計		8	300	小児看護学		小児看護学概論	1	30				
	健康と癒し	1	30	日常生活援助技術Ⅱ		1	30		小児看護援助論Ⅰ	1	30									
	英語講読	1	30	日常生活援助技術Ⅲ		1	30		小児看護援助論Ⅱ	1	30									
	人間と生活 社会の理解	人間関係論	2	45		診療の補助技術Ⅰ	1	30	臨地実習	小児看護学実習	2		90	小児看護学	小児看護援助論Ⅲ	1	30			
		社会学	1	30		診療の補助技術Ⅱ	1	15		小計	6	195	母性看護学		母性看護学概論	1	30			
		心理学	1	30		看護過程展開技術	1	30			母性看護援助論Ⅰ	1			30					
		生命倫理	1	15		看護倫理	1	15			母性看護援助論Ⅱ	1			15					
		哲学	1	30	看護研究	1	30	母性看護援助論Ⅲ	1	30										
		教育学	1	30	臨地実習	基礎看護技術実習	1	30	臨地実習	母性看護学実習	2	90	精神看護学	精神看護学実習	2	90				
		英会話	1	30		日常生活援助技術実習	1	45		小計	6	195		精神看護学	精神看護学概論	1	30			
	小計		14	390	看護過程展開技術実習	2	60	小計			15	435			臨地実習	精神看護援助論Ⅰ	1	30		
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学	2	60	専門分野	地域・在宅看護論	地域のくらしを支える看護Ⅰ	1			15	臨地実習				精神看護援助論Ⅱ	1	30	臨地実習	精神看護援助論Ⅲ
		看護形態機能学	1	30			地域のくらしを支える看護Ⅱ	1	30	小計	6		195			臨地実習	精神看護学実習	2		90
		生化学	1	15			家族看護学	1	15		精神看護学		精神看護学概論	1			30			
	病理学	1	15	在宅看護概論			1	30	精神看護援助論Ⅰ				1	30						
	微生物学	1	30	在宅看護援助論Ⅰ		1	30	精神看護援助論Ⅱ	1	15										
	薬理学	1	30	在宅看護援助論Ⅱ		1	30	精神看護援助論Ⅲ	1	30		臨地実習	精神看護学実習	2	90					
	臨床薬理学	1	15	臨地実習		地域のくらしを支える看護実習	1	30	小計	9	270		臨地実習	精神看護学実習	2	90				
	疾病論Ⅰ(循環器・血液・免疫・アレルギー)	1	30			在宅看護論実習	2	90		成人看護学	成人看護学概論			1	30					
	疾病論Ⅱ(呼吸器・腎・泌尿器)	1	30	小計		9	270	成人看護学			成人看護援助論Ⅰ			1	30					
	疾病論Ⅲ(女性生殖系・感覚器(眼耳)・内分泌疾患)	1	30	成人看護学		成人看護援助論Ⅱ	1		30		臨地実習	成人看護学実習(クリティカルケア)		2	90					
	疾病論Ⅳ(消化器・皮膚)	1	30		成人看護援助論Ⅲ	1	30		小計			6	210	健康支援と 社会福祉 制度	現代医療と看護	1	15			
	疾病論Ⅴ(運動器・脳神経・救急処置)	1	30		成人看護援助論Ⅲ	1	30			老年看護学		老年看護学概論	1		30					
	治療論	1	30		成人看護援助論Ⅲ	1	30	老年看護学援助論				1	30							
	生活とリハビリテーション	1	30	臨地実習	成人看護学実習(クリティカルケア)	2	90	小計	4		150	社会福祉	2		30					
	栄養学	1	30		小計		6		210		生活者の健康を守る法と施策	1	15							
健康支援と 社会福祉 制度	健康支援と 社会福祉 制度	現代医療と看護	1	15	健康支援と 社会福祉 制度	健康支援と 社会福祉 制度	現代医療と看護	1	15	健康支援と 社会福祉 制度	健康支援と 社会福祉 制度	現代医療と看護	1	15	健康支援と 社会福祉 制度	健康支援と 社会福祉 制度	現代医療と看護	1	15	
		公衆衛生学	1	30			公衆衛生学	1	30			公衆衛生学	1	30						
		社会福祉	2	30			社会福祉	2	30			社会福祉	2	30						
		生活者の健康を守る法と施策	1	15			生活者の健康を守る法と施策	1	15			生活者の健康を守る法と施策	1	15						
		関係法規	1	15			関係法規	1	15			関係法規	1	15						
小計		22	540	小計		22	540	小計		22	540	小計		22	540	小計		22	540	

実習施設一覧

領域	科目名	実習場所	領域	科目名	実習場所
専門分野	基礎看護援助技術実習	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	専門分野	在宅看護論実習	【老人保健施設】 医療法人社団金森会 介護老人保健施設 あさひコート別館(通所) 医療法人金澤会 介護老人保健施設青翔苑(通所) 医療法人清和会 老人保健施設シルバーピア水前寺(通所) 【小規模多機能型居宅介護】 九州松栄産業 江津しょうぶ苑小規模多機能ホーム 医療福祉法人健成会 小規模多機能ハウスほがらか 【認知症対応型共同生活介護】 医療法人金澤会 グループホームあおのの家 九州松栄産業 黒髪しょうぶ苑グループホーム 【地域連携室】 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
	日常生活援助技術実習	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター		成人看護学実習(クリティカルケア)	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
	看護過程展開技術実習	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター		老年看護学実習(健康支援)	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
	健康とくらしを支える看護実習	(株)シンパクト通所 ケアサポートメロン 社会福祉法人健成会 ウェルネスクエア和楽 社会福祉法人わくわく就業継続B型事業 ふれあいワーク 社会福祉法人志友会 くまもと江津湖療育医療センター 多機能型事業所 えびこランド 一般財団法人熊本市文化スポーツ財団 熊本市子ども文化会館 独立行政法人国立病院機構 菊池病院 独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター 公益社団法人熊本県精神科協会 熊本県あかねワークセンター		周手術期看護実習 終末期看護実習	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
	在宅看護論実習	【訪問看護ステーション】 医療法人社団金森会 看護リハビリセンターこころ 医療法人社団寿量会 訪問看護ステーション清雅苑 医療法人朝日野会朝日野 訪問看護ステーション 医療法人堀尾会 訪問看護ステーションたくまだい熊本 熊本九州松栄産業江津しょうぶ苑 訪問看護ステーション(株)Cruto 訪問看護ステーションCruto (株)熊本在宅生活支援サービス 訪問看護ステーションレシーブ (株)YUMEWAC 訪問看護ステーションOMOIBA 【地域包括支援センター】 熊本市高齢者支援センター ささえりあ幸田 熊本市高齢者支援センター ささえりあ井戸 熊本市高齢者支援センター ささえりあ熊本中央 熊本市高齢者支援センター ささえりあ水前寺 【居宅介護支援事業所】 医療法人山部会成城居宅介護支援事業所 医療法人社団松下会居宅介護支援事業所 白藤 医療法人清和会水前寺とうや病院在宅ステーション 水前寺居宅介護支援事業所 指定居宅介護支援事業所 地域介護相談センターけあまっく城西 (株)ヴィーブル居宅介護支援事業所 ヴィーブル (株)シンパクト居宅介護支援事業所 ケアサポートメロン (有)八房エイジェントケア		小児看護学実習	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター 熊本学園大学付属 敬愛幼稚園 社会福祉法人となかみ研究会 あいあい保育園 社会福祉法人となかみ研究会 本妙寺こども園
				母性看護学実習	社会医療法人愛育会 福田病院 熊本パースクリニック 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院 医療法人創起会 くまもと森都総合病院
				精神看護学実習	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 独立行政法人国立病院機構 菊池病院
				看護統合実習Ⅰ 看護統合実習Ⅱ	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
				合計	1,005時間

学校校舎



図書室

書籍や看護雑誌、DVD が揃っています。学習の場としても活用しています。



学生ラウンジ

休み時間に、学生がくつろげる空間です。



情報科学室

パソコンでの資料作りやインターネット環境が整備されています。



基礎看護実習室

実際の医療の現場に近い環境で学ぶことができます。



在宅看護実習室

居宅環境をイメージした実習室で、在宅看護を学びます。

母体病院

独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター



救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院です。

- 熊本県の中核を担う救命救急センター
- 地域医療支援病院
- 災害拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院



レストラン(学食)



カフェ

年間行事



入学式



学生交流会(スポーツ大会)

全学年が交流し
先輩・後輩
仲良くなりました

緊張してます
看護の道を
目指します



看護の日(手浴・足浴)



花粋祭



看護研究発表会



卒業式

充実した3年間でした
出会った方に感謝

- 学生交流会(スポーツ大会)
- 看護の日(手浴・足浴)
- 1年生 日常生活援助技術実習

- オープンキャンパス
- 夏季休業

- 学生交流会
- 熊本市災害福祉訓練
- 花粋祭

- 看護研究発表会
- 冬季休業
- 1年生 日常生活援助技術実習

- 一般・社会人入学試験(二次)
- 看護師国家試験

4月
Apr

5月
May

6月
Jun

7月
Jul

8月
Aug

9月
Sep

10月
Oct

11月
Nov

12月
Dec

1月
Jan

2月
Feb

3月
Mar

- 始業式
- 入学式
- 新入生ガイダンス
- 3年生 領域別実習開始(11月まで)
- 消防訓練
- 春季健康診断
- 学生交流会

- 学校説明会
- 1年生 基礎看護援助技術実習
- 2年生 看護過程展開技術実習

- ボランティア活動(祭り参加)

- 誓いの式
- 秋季健康診断
- 推薦入学試験

- 2年生 地域のくらしを支える看護実習
- 母性看護学実習
- 一般・社会人入学試験(一次)
- 卒業式
- 終業式
- 春季休業



消防訓練

シミュレーターを
活用して
演習してます



看護技術演習



ボランティア活動(祭り参加)

母体病院の
職員の皆さんと
お祭りに参加しています



誓いの式

知識・技術を身につけ
寄り添える看護師を
目指します

全員合格しました



みんな合格祈願

学生生活

— 学生1日の生活 —

1年生

基礎的な知識・技術を習得

文学や情報科学といった教養科目や解剖生理学、母体病院の医師による疾病論、さらに看護を実践するために必要な基礎的な技術を学習します。論理的思考を養い看護の対象である人間と人間の生活について考え、看護の基礎となる知識と技術の習得を目指します。

2年生

さらに専門的にステップアップ

1年生での学びを基盤に対象の状態に応じた看護について具体的に学習します。母体病院の看護師による講義もあり、あこがれだった看護師が身近な存在になります。また、看護学実習では受け持ちの対象の健康問題を解決していく過程を学びます。

3年生

本格的な臨地実習

母体病院を中心に、地域の様々な施設での実習を通して、対象の特性や看護実践の場の特徴に応じた援助について学びます。これまで培った知識や技術を看護実践の場で実践しながら、よりよい看護を探究するための考え方や方法を学びます。

臨地実習

臨地実習は主として、国立病院機構熊本医療センターで行います。病床数550床を有し、救命救急医療、政策医療、高度先進医療を中心とした総合診療および教育研修、研究、国際医療協力と幅広い分野に積極的に取り組んでいます。学生の指導においては全病棟に実習指導者が配置され、高い教育効果をあげています。院外実習としては、訪問看護ステーション、老人ホーム、介護老人保健施設、幼稚園等があります。

学習支援—看護技術教育—

基礎看護技術の習得では、講義終了後、2年生と1年生がともに教えあい学びあう中で成長できるような学習体系を整えています。グループで演習し、相談しやすい雰囲気の中で、お互いを高めあいながら学習することができます。これは、先輩、後輩との関係を築き、自ら学ぶことのできる力を身につけることにもつながっています。

学内での1日

臨地実習の1日

授業開始

9:00

実習開始
(国立病院機構熊本医療センター)

講義・演習

実 習



昼休み

12:10

昼休み

授業開始

13:10

実習開始



講義・演習

実 習



16:00

実習終了

下 校

16:30

下 校

Students' Voice — 在校生の声 —



1年生では、看護の基礎となる知識や技術を学んでいます。本校ではICT機器を活用しており、解剖生理学や看護学概論、基礎看護技術等の専門的な学習を新鮮な気持ちで受ける事ができます。電子テキストや動画を通して、より詳しく深い学びを得ることができるのも特徴です。また、授業中の意見交換やグループワークも活発で、タブレットを使えば他の学生の意見もすぐに確認できるため、授業の利便性や効率が大きく向上しています。

男子学生は少数ですが、ピアティーチングやスポーツ大会などの学年を超えた交流や学び合いを通じて、クラスメイトや先輩たちと自然にコミュニケーションを図る機会が多く、絆も深まっています。先生方も親身で、授業でも距離が近い事から様々なサポートを受けられるので、毎日の学校生活を楽しく過ごす事ができています。

私は患者さんやそのご家族に信頼され、親しみやすく寄り添える看護師になるために日々努力しています。

皆さんも本校で充実した日々を過ごしながら、一緒に看護師を目指してみませんか。

1年生 朝倉さん

2年生では、1年生の時に学んだ基礎的な知識や技術をもとに、より専門的に学習していきます。1年次に経験した日常生活援助技術実習では、個別性を考えながらアセスメントをしていきました。2年次ではその学びを活かし、事例を使用した看護過程やフィジカルアセスメント等の学習に励んでいます。また、2年生は学校を中心となって動く場面が多く、花鈴祭やピアティーチングなどの企画を立て、3学年をまとめ、学校を盛り上げていく役割を担っています。ピアティーチングでは、先輩が後輩に技術や知識を教える機会が設けられており、学校生活で不安な事なども聞くことができます。

本校は、1学年1クラスと小規模ではありますが、看護師という夢に向かってみんなで協力し合いながら学ぶ事ができる環境が整っています。

皆さんも看護師という夢のために、本校で一緒に学びませんか。

2年生 山本さん



3年生では、1・2年生で学習した基礎・専門科目をもとに、様々な領域の実習があります。実習は主として隣接する熊本医療センターで行われ、多くの卒業生の方々からご指導いただき、学びやすい環境が整えられています。また、多くの診療科があるため幅広い知識を身につけられる事や現場の実際を見る事で卒業後にどのような看護師になりたいか、どの診療科で働きたいのか等を具体的に考える事ができるのも魅力です。院外実習では訪問介護ステーションや幼稚園等で行われるため、退院後に住み慣れた地域で暮らすために必要な社会資源や病院外の環境や暮らし方等を専門的に学べます。

学内では小論文、面接の練習、模擬試験や解説学習を行い、看護師国家試験や就職試験対策に取り組んでいます。また、スポーツ大会や学校祭等の学校行事も充実しているため学年を超えて仲を深められ、毎日楽しい学校生活を送る事ができています。

3年生になり、改めて確かな知識や技術の習得は難しいと感じていますが、面白くて優しい先生方や友達に支えられながら楽しく学ぶ事ができています。

皆さんも、学生生活を本校で過ごしませんか。

3年生 井本さん

